



< 市町村探訪 >

土浦市のまちづくりの取り組み

～ 中心市街地の空き店舗活用と起業家の創業支援～

(土浦市)

1 開設の趣旨

土浦市では、中心市街地活性化事業における空き店舗対策並びに起業家の創業支援を目的として、平成15年3月から「SOHOつちうら」を開設しています。

SOHO(スモールオフィス・ホームオフィス)とは、自宅や小規模な事務所でインターネットなどを活用して仕事を行う働き方の総称であり、SOHOワーカーの拠点となる施設環境を整えることにより、起業家の支援・育成を図る施設です。

名称は、起業家のひとり立ちを支援する施設であるため、卵を抱いて温める、孵化させるという意味を持つインキュベーションセンターとしました。



外観

2 施設の概要

「SOHOつちうら」は、市内商工業振興事業に精通し、経営指導員等を配する土浦商工会議所に運営業務を委託して、設置者である土浦市との連携により事業を実施しています。

この施設では、入居者の拠点としての役割のほか、受付・インキュベーションマネージャーの設置、茨城県中小企業振興公社による定期相談会の開催、ネットワーク会員登録制度に

よる連携支援、入居者及びネットワーク会員へのセミナー開催等による育成支援などを行っています。

施設の概要については、次のとおりです。



間取り図

名称

土浦市SOHOインキュベーションセンター
「SOHOつちうら」

所在地

土浦市川口一丁目3番132号
(ショッピングモール505 1階)

面積

約111㎡

入居スペース

オフィス...6室(1室6㎡の専用ブース)

入居期間...2年間(24時間利用可能)

管理費用...月額2万円

入居資格...現在SOHOワーカーとして起業されている方で、「SOHOつちうら」卒業後は土浦市内で起業独立を目指している方



入居スペースの一室

共有スペース

交流・情報コーナー...市民及びネットワーク
会員の交流広場

利用時間...午前9時～午後5時

定休日...土・日・祝日



共有スペース

インターネット環境

光ファイバーによる 100Mbps の超高速通信
セキュリティ

入居スペース...指紋認証システムによる管理

共有スペース...セキュリティカードによる管理

3 入居者の状況

平成 15 年 3 月の開設以来、卒業生のうち市内開業が 8 名、市外開業が 4 名という状況になっています。

平成 21 年 1 月には、第 3 期生が卒業し、現在は今春から 4 期生が入居するための準備を行っているところです。

第 1 期生

入居期間...H15 年 3 月～H17 年 1 月

卒業生... 6 名（市内開業 4，市外開業 2）

業種...ホームページ作成代行，中国関係コンサルタント，システム開発，人材派遣等

第 2 期生

入居期間...H17 年 2 月～H19 年 1 月

卒業生... 4 名（市内開業 3）

業種...パソコン関連サービス業・医療サービスコンサルタント等

第 3 期生

入居期間...H19 年 2 月～H21 年 1 月

卒業生... 5 名（市内開業 1，市外開業 2）

業種...ビジネスコンサルタント，建築設計コンサルタント等

ネットワーク会員

会員数...29 名（平成 21 年 2 月 1 日現在）

4 今後の展開

中心市街地は、土浦市の発展の牽引役として、社会経済をはじめ、教育・文化などあらゆる面で中心的役割を担ってきました。

しかしながら、モータリゼーションの進展や郊外への大型店立地のほか、商店街の高齢化等により、空き店舗が年々増加傾向にあるのが現状です。

土浦市では、この施設を開設することにより、起業家の独立を支援することで、年々増加傾向にある中心市街地の空き店舗への出店を促し、新たな魅力ある商店街の形成を目指しております。

なお、今後は、不動産事業所・関係団体等と連携を図りながら、中心市街地の空き店舗情報を一元化し、新規出店者に対して空き店舗へスムーズに誘導できるような体制の整備・確立が求められています。

【問い合わせ先】

土浦市産業部商工観光課中心市街地対策室

Tel 029-826-1111 (内線 7602)

Email shoukou@city.tsuchiura.lg.jp